

カリキュラム(ひな形)

機構施設名： 沖縄職業能力開発促進センター

実施機関名： 一般社団法人中部産業連盟

A.バックオフィス	クラウド活用入門
クラウド・IoT導入	

コースのねらい	クラウドに関する基本的な知識、サービス及び利用方法を理解し、クラウドを活用した業務展開の企画提案の知識と技能を習得する。
---------	--

講義内容	「基本項目」		「主な内容」	訓練時間(H)
	1	クラウド	(1)クラウドの基礎 クラウドとは何か定義を理解し、従来のシステムと何が違うか、特徴を考える。その上で、はじめに解決したい業務課題をグループで討議する【演習】。	2.0
			(2)クラウド活用のメリット クラウド活用で一番多いのは「情報共有」です。ノウハウをクラウドで整理するコツを修得します。そして「マインドマップ」という思考法を用いて知識やノウハウを棚卸してみます【演習】。	
	2	クラウドサービス	(1)クラウドと自社システムの全体構成 自社が持つ情報資産を洗い出します。その際にポイントとなるのは価値のあるデータか否かです。クラウドサービスと自社システムの全体構成を図示して眺めます【演習】。	2.0
			(2)セキュリティ クラウドサービスが置かれるインターネットは危険が一杯です。C(機密性)、I(完全性)、A(可用性)の3点でセキュリティを守りましょう。自社が置かれた環境やリスクを話し合います【演習】。	
	3	クラウドの活用	(1)クラウドサービスの利用方法 活用事例からクラウドサービスの知識を広めます。その際に直接部門／間接部門で分けて活用シーンを想定します。更に投資対効果を計る方法も学び、各自でクラウド導入のためのポイントを整理します【演習】。	2.0
			(2)クラウド活用の課題 導入イメージを描きながら利用上の課題を考えます。その際に上手く行かなくなるリスクも予め洗い出します。最後に洗い出した様々な課題への解決策をグループで討議します【演習】。	
合計時間				6.0

カリキュラム作成のポイント
クラウドの基本知識から理解し、先行する他社事例も参考にしながら、クラウドサービス活用による業務改善が進められる知見を得る為のカリキュラムにしました。 実機デモやグループワークを多く取り入れ、体験・参加型の演習により、受講生に有益な情報交換の場にもなります。